

平成25年  
2月15日号

子どもと未来の柏のために

# 放射線対策 NEWS NO.026

掲載情報は個別に記載したものを除き2月5日現在のものです

## 1月16日に終了 全ての市立中学校の除染作業が終了

市では、柏市除染実施計画に基づき、子どもが多く利用する施設から優先的に除染を進めています。このたび、昨年8月末の市立小学校、10月

末の保育園・幼稚園に続いて、市立の全中学校の除染が1月16日に終了しましたのでお知らせします。 園 学校企画室 ☎7191-7210

**除染工事の内容** 柏市除染実施計画の目標である、追加被ばく線量が年間1ミリシーベルト未満の環境を目指し、市立中学校では、地表高さ50センチメートルでの空間線量率が0.23マイクロシーベルト未満となることを目標に、除染を行いました。

### ■市立中学校の除染後の放射線量(代表点)

測定日:2月1日~4日

学校名	測定値(マイクロシーベルト/毎時)	
	100センチメートル	50センチメートル
柏中学校	0.092	0.101
柏第二中学校	0.113	0.120
柏第三中学校	0.092	0.096
柏第四中学校	0.091	0.100
柏第五中学校	0.103	0.102
土中学校	0.071	0.080
南部中学校	0.104	0.107
逆井中学校	0.098	0.098
富勢中学校	0.097	0.092
田中学校	0.084	0.089
西原中学校	0.099	0.104
光ヶ丘中学校	0.094	0.104
酒井根中学校	0.101	0.116
松葉中学校	0.094	0.082
中原中学校	0.101	0.114
豊四季中学校	0.094	0.108
風早中学校	0.111	0.112
手賀中学校	0.091	0.091
大津ヶ丘中学校	0.072	0.076
高柳中学校	0.079	0.080

※各施設の除染前後の放射線量を記した詳細マップは、市のホームページで見ることができます

### 作業内容

- ・校庭や校舎周辺表土等の削り取り
- ・校舎屋上やベランダ・倉庫屋根・舗装面の洗浄
- ・汚泥や落葉等の除去
- ・削取土や汚泥、落葉等は校庭に埋設



### ●市立柏高等学校の除染は2月末に終了予定

市立柏高等学校の除染作業は、2月末までに終了する予定です。

工事中は、学校行事や地域行事・活動に支障が生じますが、皆様のご理解・ご協力をお願いします。

### 通学路の除染作業も進んでいます

学校や保育園・幼稚園の敷地内の除染終了後は、周辺通学路等における道路排水施設の除染も順次行っています。

園 学校を基点に半径200メートルの範囲内にある通学路、保育園・幼稚園に近接している市道など

作業内容/範囲内にある集水桝(ます)や側溝内の土砂等の除去、清掃など

### ■通学路等の除染の進捗状況(1月31日現在)

小学校	旭、旭東、風早北部・南部、柏第一~第四・第七、大津ヶ丘第一・第二、酒井根、酒井根東、高田、高柳西、田中、田中北、土、手賀東、手賀西、富勢、富勢東、富勢西、十余二、中原、名戸ヶ谷、西原、花野井、光ヶ丘、藤心、増尾西、松葉第一・第二、豊
保育園	あけぼの、旭、高野台、酒井根、しこだ、田中、名戸ヶ谷、富士見、松葉、若葉
幼稚園	かしわ

◎測定結果等は作業後の測定が完了し次第、市のホームページで公表していきます

園 道路維持管理課 ☎7167-1299

## 放射性物質の検査結果

■市内の農産物 園 農政課 ☎7167-1143	
[北部]ホウレン草、ブロッコリー、白菜 [中央]カブ、ブロッコリー、大根、白菜[手賀沼周辺]カリフラワー、ホウレン草、カラシ菜、ジャガ芋、ブロッコリー、白菜	検出下限値未満 (放射)134:6.98~12.24、 (放射)137:6.32~11.09 (1月23日~2月4日検査分)

■給食食材 園 学校保健課 ☎7191-7376	
牛乳	検出下限値未満 (放射)134:10、(放射)137:10※ ※飲用牛乳は各1)

■小中学校(提供した給食1食分) 園 学校保健課 ☎7191-7376	
自校調理13校、給食センターの提供食	検出下限値未満 (放射)134:0.8~1.3、 (放射)137:0.9~1.3 (1月18日~25日検査分)

■保育園(提供した給食1食分) 園 保育課 ☎7167-1137	
公立・私立合計9園の提供食	検出下限値未満 (放射)134:0.54~0.86、 (放射)137:0.54~0.77 (1月22日~28日検査分)

### ■表記の説明

N=Nal(Tl)シンチレーションスペクトロメータによる検査  
G=ゲルマニウム半導体検出器による検査  
放射=放射性セシウム。  
数値は各下限値。単位はベクレル/キログラム  
検出下限値=使用する検査機器で検出できる最小値のこと  
※検査機器が異なるため、下限値の設定が異なります。Nal(Tl)シンチレーションスペクトロメータ検査で、数値が検出された場合、より精密な測定が可能な「ゲルマニウム半導体検出器」で再測定を行います

品目・学校名・検査方法などの詳しい内容は、市のホームページに掲載しています。私立幼稚園の検査結果も見ることができます

**Q これからどうやって生きていくのですか?**  
柏は飲食店と畑の距離が近い、とても恵まれた環境です。野菜は、間違いなく採れたてがうまい。それを市内の飲食店が多く使えば、もっといいものが出せる。昨年、ユルベルトの参加店と市内の農家の意見交換会を行いました。そのきっかけが少しは作れたかなと思います。  
柏の飲食店には、お互いを競争相手ではなく仲間と想っている。潜在的に「街に貢献できるお店にしよう」という意識が皆にあるからなんです。その思いを柏の飲食店全体の質の向上につなげ、街の元気を取り戻せるよう取り組みを続けたいと思います。



▲日頃からの「街への貢献」を大切に取組む寺嶋さん(右から3人目)

**Q 今回の経験から思うことは?**  
これまでは、自分が頑張れば何とかできると思ってきましたが、自分の力が及ばないことがあることを認識させられた経験でした。これまで普通に暮らしてきた生活が「幸せ」だったことを痛感しました。

**Q 震災直後から、チャリティー版ユルベルトを行っていますね?**  
(ユルベルト:回数券を買って柏駅周辺のいろいろな店を食べ歩くイベント)  
3月下旬、仲間を声掛けて、被災地から柏へ避難してきた人たちに夕食を提供しました。その時に、着の身着のまま逃げた人たちの目を当たりにし、支援の必要性を強く感じて義援金を集めようと、予定を早めてユルベルトを行うことにしました。この2年間で計4回行い、寄付の総額も130万円に上りました。残念ながら時間とともに記憶も支障も風化してしまっていますが、ユルベルトでは、今後も必要限り支援をしていきたいと思っています。

**Q その後どうされましたか?**  
店は3月こそお客さんが減りましたが、4月からは再び戻ってきてくれました。お客さんも平静さを保とうとされていたのかもしれないですが、それでも夏ごろにはその姿を通して「大丈夫なんだな」と思えました。ただ、被災地から仕入れられている食材があったので、仕入れが困難になり、メニューを減らすなどの対応をせざるを得ませんでした。メニューを元通りに戻せたのは、11月でした。



▲寺嶋浩人さん

**Q 柏の放射線量が高いことを認識した当時の状況は?**  
当たり前だった安心・安全な生活が、突然危機に襲われ、日本はどうなるのだろうと思えました。「住めなくなる」という最悪の事態まで想定し、お店を閉めることや、従業員を避難させて、自分もどこへ避難するかなど、いろいろな考えました。

第6回は、市内の飲食店「ばらい庵」のオーナーで、ユルベルト実行委員会の代表も務める寺嶋浩人さんにインタビューした内容をお伝えします。  
園 放射線対策室 ☎7168-11036



## ワレエトーク

放射線と向き合う  
私が考え、行動したこと  
第6回